

青空

薬物乱用防止教室号

令和5年7月1日発行

6月23日（金）の6時間目に薬物乱用防止教室を行いました。今年度は、薬物乱用防止啓発演劇「すばらしい明日のために・・・ 違法薬物『買わない』『使わない』『かかわらない』」を鑑賞しました。講師の劇団三十六計の方々の演技にくぎ付けになった、あっという間の1時間でした。

薬物乱用防止教室の概要・様子

【劇のあらすじ】

主人公の『ゆうき』は先輩からの誘いをきっかけに、たばこ・大麻・覚醒剤などの違法



薬物を使用するようになる。次第に中毒症状を呈していき・・・。

劇の後半は、劇中の違法薬物などの解説でした。その中で、こんな問いかけがありました。『あなたは、先輩からの薬物の誘いを断れそうですか?』

大内中の皆さんは、会場では『断れる』という反応をしている人が多かったです。先輩の誘いぐらいなら断ることができると思った人もいたのでないかと感じました。

では、好きな人や家族、親友から誘われたらどうでしょうか?ぜひ、家庭でも話題にしてみてください。

生徒の感想（感想用紙より一部抜粋）

1番印象に残ったシーンは、主人公が薬物におぼれ、母親を攻撃したシーンです。自分だけでなく、周りの人も傷つけてしまうこと、それも精神面だけでなく、肉体を傷つけ命を奪う可能性があるんだと改めて実感できました。



劇を見て、DVDだけではわからないリアルな感じがあって鳥肌がたったところがありました。



演劇を通して、薬物の危険性と怖さを知ることができた。例えば、薬物は軽い気持ちで始めてもなかなか抜け出すことができないもので、もし抜け出しても、フラッシュバックなどの後遺症と共に生きていかなければならないということを知った。



（誘いを）断る以前に、そのような危ない場面にならないように気を付けたいと思った。

主人公のゆうきさんの違法薬物の使用のきっかけは、たばこでした。たばこやお酒は、『ゲートウェイドラッグ（違法薬物へのきっかけ）』と言われています。